

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

静岡県袋井市 聖隷袋井市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者（代行制）	4	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
88,234	10,399	非該当	15:1	

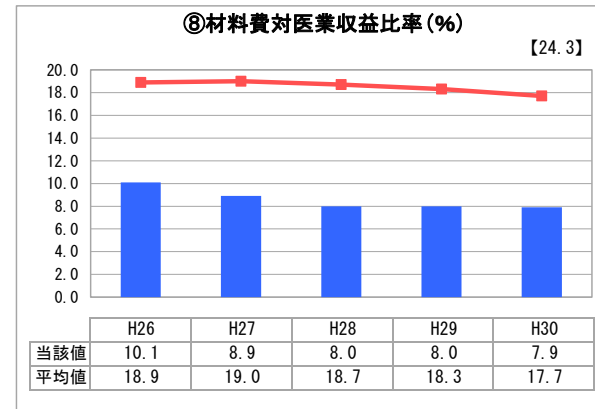
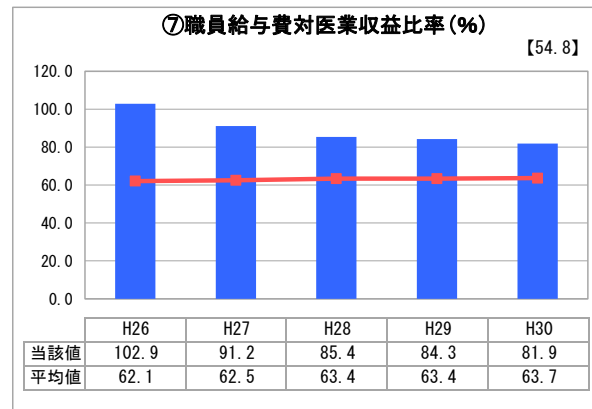
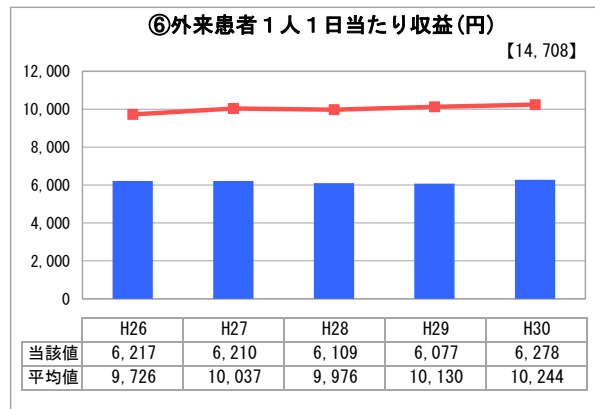
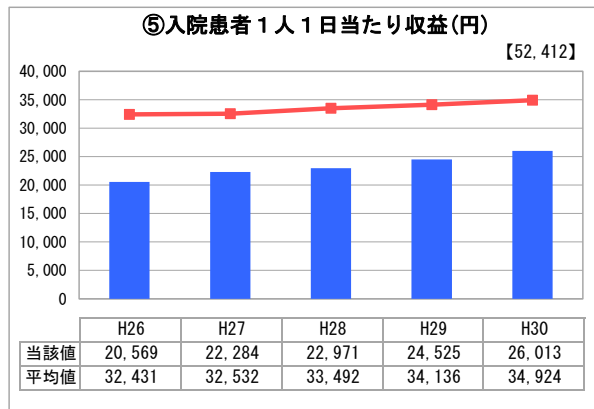
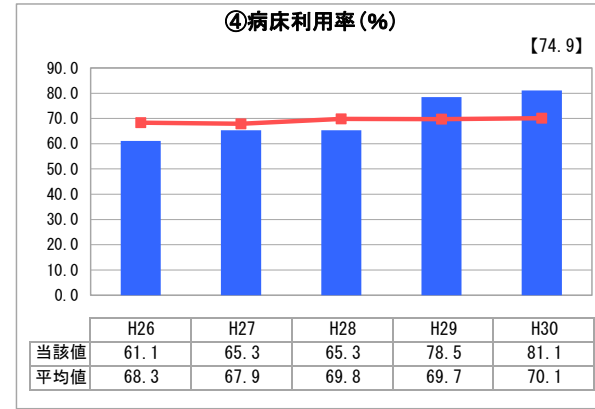
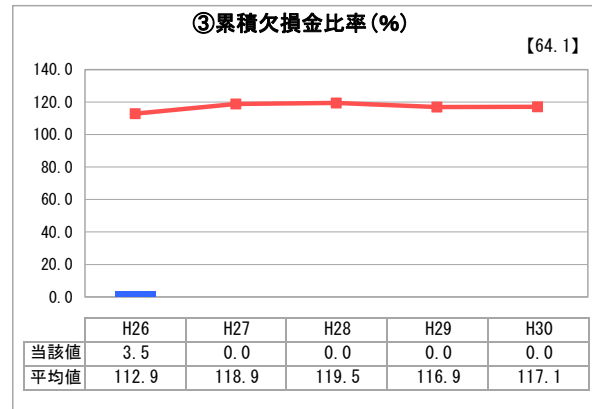
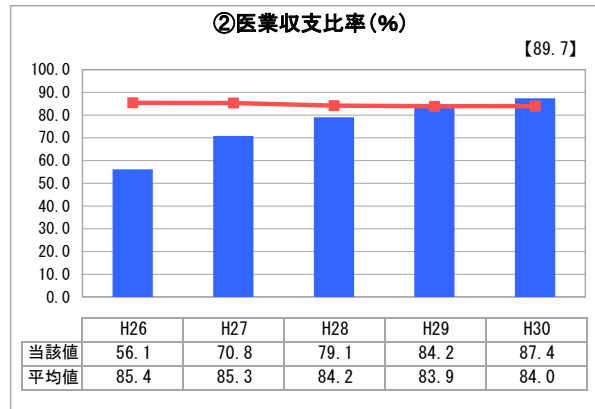
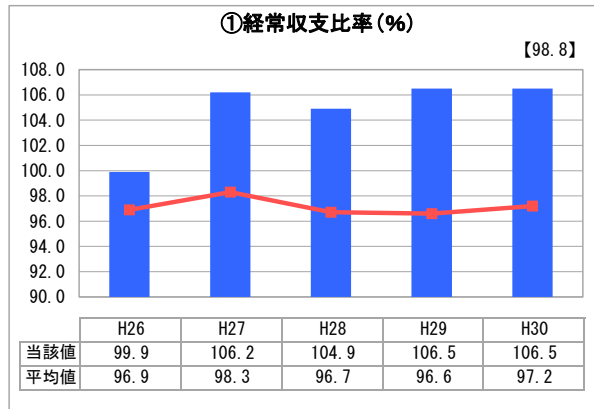
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

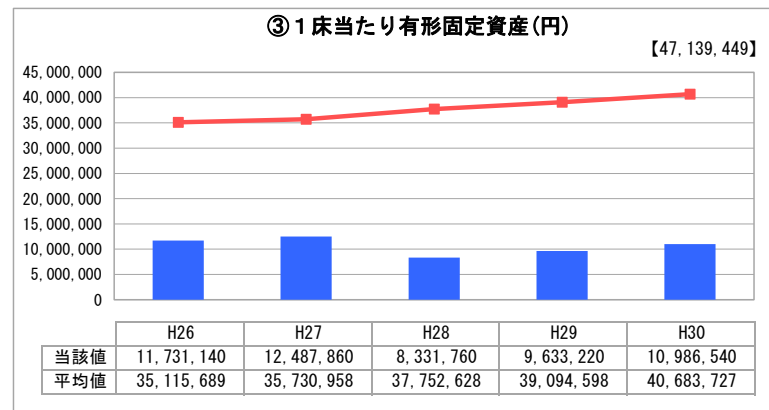
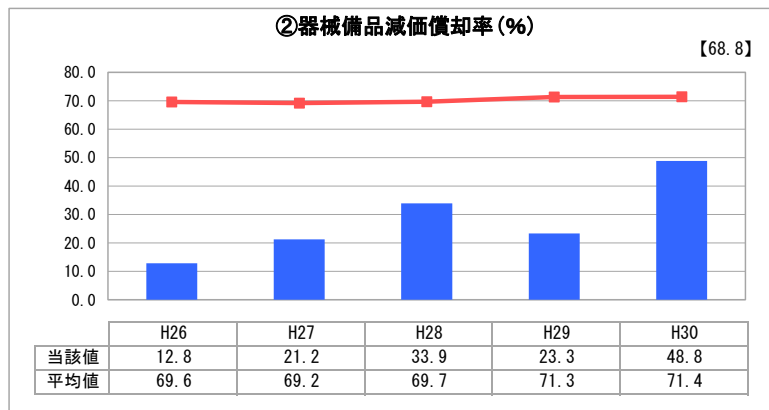
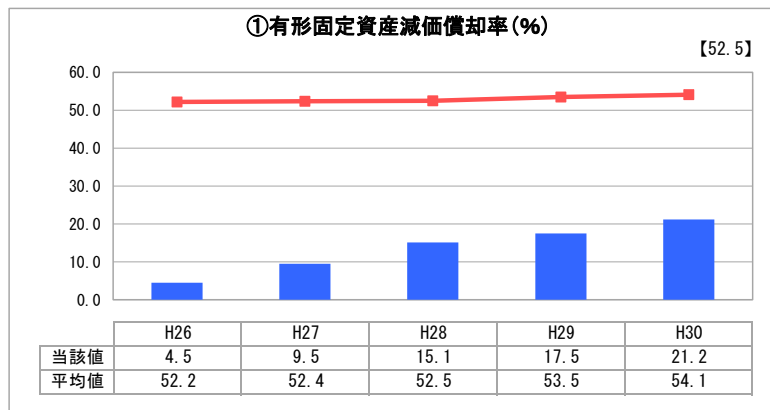
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	150
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
100	50	150

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	-年度	平成25年度

## I 地域において担っている役割

公立病院の統合により新たに設立された中東遠総合医療センターの後方支援病院として、外来機能（一次医療）と、一般病床・療養病床・回復期リハビリテーション病床を市内で運営している。高度医療（二次医療）を担う中東遠総合医療センターと、地域の診療所、訪問看護・介護事業所等と連携して機能分担し、切れ目のない地域医療体制を提供する、地域包括ケアシステムの拠点として運営している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成25年度の開院以降6年を経過し、安定的な運営を行っていることから、経常収支比率も持続可能な経営を実現するための指標である100%を超えている。入院・外来患者の1人1日当たり収益については、当院は比較的収益性の低い慢性期病床が主であるため、平均よりも下回っている。しかし、入院患者数の増加に加え、医療環境の向上によって、1人1日当たり収益は年々増加している。同様に収益全体も増加していることで、医業収支比率及び病床利用率の改善が進み、昨年度同様平均を上回ることができた。また、今年度実施を始めた訪問リハビリテーション事業も好調であり、当初の計画よりも多くの利用を得ている。今後も収益増加に向けた取り組みを継続して進める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

旧袋井市立袋井市民病院の閉院に伴い、袋井市立聖隷袋井市民病院は平成25年に開院したが、施設自体は外来部分が昭和54年に建設され約40年が経過し、病棟部分が平成元年に建設され約30年が経過している。

平成30年度には空調・給湯設備更新工事を実施し、各病室で快適な温度を保つことができているが、施設の老朽化が著しく、備品等も経年劣化が進んでいる。今後も計画的に施設修繕や備品の更新を図り、より良い療養環境の提供に引き続き努めていく。

### 全体総括

経営は順調に推移している。今後においても、平成28年度に策定した「袋井市立聖隷袋井市民病院改革プラン」に基づきながら、経費削減・抑制に向けた取り組み、収入増加・確保に向けた取り組み、人材確保・離職防止に向けた取り組みなどを推進し、効率的で安定した経営基盤の確立に向け、より一層努力していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。